

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 5

第14号

平成27年12月12日発行

発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

大人のまちの楽しみ方

アソビバージョン +ONE

11月28日

アソビバージョンコース
受講生14名

当日の流れ

- ・アソビノストリート実践発表
- ・松井さんのお話し（松井さんって誰？）
- ・松井さんと齊藤さんのトークセッション

第13回 ここから行くべき長い道のりを考えよう

▼「アソビノストリート」続々と実施中！！ 前回の講座後に実施された2つのアソビの発表が行われた。はたして、ストレンジャーとの出会いは？

★路地裏スケッチ(11/15)・・・右写真(右上)

スケッチブックを肩からさげ阿佐谷駅界隈をさすらいながら、気になったポイントがあったら立ち止まって描いていった。スケッチブックを掲げた集団は、人目を引いていたし、気にしていた人も多かった。まちでは、かなり気になる存在になっていたようだ。

★西荻窪の商店街探索(11/22)・・・右写真(右下)

西荻の商店街を探索しながら、そのお店の成り立ちなどをレポートして回った。それぞれが気になるお店で、ガッツリとインタビューがされていたようだ。



★松井さんのお話 「霧中」で遊んでみませんか？～夢中？五里霧中？

・・・松井さんは学習支援者である広石さんが所用で欠席になったことから、急きよ来ていただいたエンパブリックのピンチヒッター（代打の切り札、スーパーサブ）である。「試行錯誤の五里霧中で遊んでいる」と言いながら、シブヤ大学で「渋谷川上流から河口まで歩く」実践を交えて話してくれた松井さん。「意味がないようなことでも、面白ければ意味も見つけられるし、続いていく。人と一緒に遊ぶことで、自分の役割が見えてくる。人と遊ばないと、尊敬できる仲間はずっと増えない。近所に遊び仲間がいると生活が楽しくなるし、その地域に暮らすことの意味が見えてくる。」と外見とはうらはらに、熱く語ってくれた。



▼「アソビバージョン」は「アソビ」+「イノベーション」だが、「イノベーション」は起きているのか？！

齊藤志野歩さんからの「イノベーションは起きているのか？」との問いかけから始まった、本日の講座。答えは松井さんの「人と一緒に遊ばないと、自分の役割は見つかりにくい」につながる。今は自分が楽しいため、ひたすら遊んでいるが、アソビを続けていくと、自分の中に変わっていくものがある。アソビの中から自分の役割が身についていく。それがイノベーションなのでは！！

▼さらにアソビノストリートは続く！！

<感想集(一部)> ●松井さんの静かでpassionateする体験談はとても面白く、自分にとっての遊びをふりかえる機会となりました。“私”を主語にして語る言葉の力強さを再確認しました。
●実践的なお話しが聞けてよかったです。(今日の講座の題名「ここから行くべき長い道のりを考えよう」と、どうつながったかよく分からなかったのですが)うーん、なかなか素直にアソベないと感じます。

今後も、★2分間の動画作成（現在、快調に撮影継続中！）や、★ぐりとぐらのようにみんなで作ってたべてシェアしよう（12/5）、また番外編で★家族に乾杯！第2弾（12/12）へとアソビは続いていくのであった。（文：吉川）

だがしや楽校deワクワク大作戦 ～ゆるく楽しく地域とつながろう～

第13回 私と地域を考える

だがしや楽校コース
11月21日
参加者20名

「だがしや楽校 in マイルドハート高円寺」をふりかえって…

杉並初の試みとなった福祉施設でのだがしや楽校を終え、今回はふりかえりを行った。まずは、大いに盛り上がった健康体操を再現！身体をあたためたところで、当日参加できなかった人も一緒に今回のだがしや楽校での経験や感想を共有した。状態が様々な入居者とのコミュニケーションが難しかった…、そもそも作業に追われてお話もできなかった…等、課題や反省の声。一方、香りやスキンシップなど、五感への働きかけが効果的だったり、子どもがブースに集まることで他の参加者も興味を抱いたり(多世代を結びつけた!)と、だがしや的エピソードや気づきもあり、福祉施設における相互の関わりづくりの可能性を感じさせた。その他の感想は右記をチェック!

皆さんのふりかえりコメント (一部)

(入居者の) やりたいことをくみ上げてあげた方がよく、ニーズをつかむ必要がある。その人が主人公になれるように! / 車椅子に乗っている方との距離が遠く、机越しだと身体が前に倒せないで、もっと近づく配慮が必要 / 楽しい集まりに参加することは、いくつになってもやっぱり楽しい。そして、まだまだ好奇心もお持ちである / ワークショップのニーズはあったが、実際どうできるかが課題 / 入居者の気持ちを理解することは難しかったですが、一緒に楽しむことはできました / 触れることに、もっと条件や抵抗があるのではないかと心配していましたが、多くの方が希望してくださり、しかも見ちがえるようなイキイキした笑顔になられたのがなによりうれしかったです。

本日の日直: 池田さん



これからの活動…地域に出て行こう!

後半は、卒業後の自主活動と成果発表会について話合った。すでに11月のすぎなみフェスタ、青梅市で行われただがしや楽校に参加した受講生もあり、その時の体験談を聞いて今後の活動へのイメージをふくらませた。

次なる目標は、来年5月の大人塾まつり。具体的な出し物のアイデアはもちろん、年度をまたいで同じ興味を持つ人でグループを作っては?という提案もあった。

成果発表会に向けて

今回決まった成果発表会の内容は以下の通り。

①2回開催しただがしや楽校を、それぞれ代表者がプレゼンテーション。メンバーは必ずどちらかの発表に関わる。

②最後は全員で健康体操!

どのように全員が関わるか(その場でコメント or 配付資料で一言メッセージなど)といった検討事項は残るが、まとめ役も決まり、それぞれ動きははじめた。

次回はいよいよ最終回、そして牧野先生の公開講座だ。先生の刺激的なお話は今後の活動のエネルギーになるに違いない。お楽しみに!(文:遠藤)



◆ 大人塾に参加中のオトナたちに聞く (①出身 ②座右の銘・好きな言葉 ③自分のつながりPR)

ア 清水 由貴(おいちゃん)

- ① 横浜市
- ② 笑う門には福来る
- ③ 飲んだり、食べたり、お喋り。大好きです。

だ 田中 弘子(ひめちゃん)

- ① 栃木県 足利市
- ② 成せば成る! 大激突
- ③ 自分で何が出来るのに動けない自分 いじける。大人塾のお陰で道が見えもうひと頑張り!!

ア 加藤 理(あや)

- ① 岐阜県多治見市
- ② 楽しいのが一番!
- ③ 夫婦で「ひめま杉並」を主催。2016年、起業ママの「集まる集客」支援を始めます♪

だ 本田 良子(よったん)

- ① 東京・豊島区
- ② 思いやりを大切に
- ③ 好奇心たっぷり、そして人とのふれあい大好きです。おしゃべり・歌・イベントのお手伝いなどを通して日々楽しく過ごしています。

◆すぎなみ大人”熟”してる?の発行にあたって◆この新聞は事務局スタッフの視点と記録に基づき作成しております。